



令和7年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和7年1月31日
上場取引所 東

上場会社名 モリ工業株式会社
 コード番号 5464 URL <https://www.mory.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森 宏明
 問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理部長 (氏名) 河野 博光 (TEL) 06-6635-0201
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第3四半期の連結業績(令和6年4月1日~令和6年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第3四半期	34,880	△4.1	4,290	△6.7	4,602	△7.2	3,279	△7.5
6年3月期第3四半期	36,370	0.2	4,600	△12.0	4,960	△10.8	3,544	△9.9

(注) 包括利益 7年3月期第3四半期 3,067百万円(△23.0%) 6年3月期第3四半期 3,981百万円(△6.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第3四半期	423.48	—
6年3月期第3四半期	456.47	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
7年3月期第3四半期	71,030	55,663	78.3	7,204.16
6年3月期	70,304	54,605	77.6	7,026.29

(参考) 自己資本 7年3月期第3四半期 55,601百万円 6年3月期 54,548百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
6年3月期	—	80.00	—	150.00	230.00
7年3月期	—	80.00	—	—	—
7年3月期(予想)	—	—	—	100.00	180.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日~令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	45,000	△6.1	4,700	△20.3	5,000	△21.8	3,500	△22.6	451.89	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	7年3月期3Q	7,766,380株	6年3月期	7,766,380株
② 期末自己株式数	7年3月期3Q	48,425株	6年3月期	2,957株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	7年3月期3Q	7,745,080株	6年3月期3Q	7,764,620株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P3「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 当社は役員報酬BIP信託を導入しております。信託が所有する当社株式は、自己株式に含めて記載しております。また、当該信託が保有する当社株式を期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
<参考資料>	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高や人手不足を背景とした雇用や所得環境の改善が進み、個人消費は下げ止まりつつあります。外需におきましても、円安を背景にインバウンド需要が増加基調にあり、輸出も回復傾向を見せており、景気は緩やかに持ち直してきております。

海外におきましては、欧州や中国における景気低迷の長期化、米国においてはトランプ大統領による関税の引き上げといった通商政策や米中貿易摩擦の再燃に対する懸念、ウクライナや中東における地政学的リスクの継続など先行き不透明感は高まっており、景気後退のリスクは依然として残っております。

当社グループが所属しておりますステンレス業界では、国内需要が低迷する中、安価な輸入材の流入が増えてきており、販売数量が伸び悩む中、販売価格の引き下げを行うなど厳しい経営環境が続いております。また、足元ではニッケル市況が下落しており、先安観による買い控え等の動きもあり、本格的な荷動きの回復までには至っておりません。

このような状況下におきまして、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は348億80百万円（前年同四半期比4.1%減）となりました。前年同四半期に比べ販売単価の下落により、売上高は減少しております。また収益面におきましては、運送費を筆頭とする経費の増加により、営業利益は42億90百万円（前年同四半期比6.7%減）となりました。受取配当金や為替差益の減少により、経常利益は46億2百万円（前年同四半期比7.2%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、32億79百万円（前年同四半期比7.5%減）となりました。

各セグメントの状況は次のとおりです。

(日 本)

日本事業の売上高は332億55百万円（前年同四半期比3.8%減）、セグメント営業利益は42億29百万円（前年同四半期比5.5%減）となりました。製品部門別の売上高は以下のとおりです。

ステンレス管部門は、自動車用と配管用は前年同四半期と比べて製品価格が下落したため、売上高は192億92百万円（前年同四半期比2.4%減）となりました。

ステンレス条鋼部門は、前年同四半期と比べて、販売数量が減少したことにより、売上高は84億40百万円（前年同四半期比3.7%減）となりました。

ステンレス加工品部門は、給湯器用フレキ管の販売が回復しましたが、売上高はほぼ横ばいの7億41百万円（前年同四半期比1.3%減）となりました。

鋼管部門は、前年同四半期と比べ建設仮設材用の需要が低迷し、販売数量が大幅に減少したため、売上高は42億58百万円（前年同四半期比11.9%減）となりました。

機械部門は、前年同四半期に比べ取引先の設備投資意欲が回復傾向にあり、売上高は5億22百万円（前年同四半期比10.2%増）となりました。

(インドネシア)

インドネシア事業は、二輪完成車の販売は好調に推移しましたが、四輪完成車の販売はローン審査の厳格化等により低迷いたしました。その結果、二輪、四輪用ともに販売数量が減少し、売上高は16億25百万円（前年同四半期比9.0%減）となりました。生産高の減少等により、セグメント営業利益は60百万円（前年同四半期比52.8%減）となりました。

(セグメント・製品部門別売上高比較表)

区分	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)		前連結会計年度 (自 令和5年4月1日 至 令和6年3月31日)	
	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)
日本						
ステンレス管	19,757	54.3	19,292	55.3	25,943	54.2
ステンレス条鋼	8,765	24.1	8,440	24.2	11,462	23.9
ステンレス加工品	751	2.1	741	2.1	1,024	2.1
鋼管	4,835	13.3	4,258	12.2	6,451	13.5
機械	474	1.3	522	1.5	643	1.3
インドネシア	1,786	4.9	1,625	4.7	2,373	5.0
合計	36,370	100.0	34,880	100.0	47,898	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の総資産は710億30百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億26百万円増加いたしました。総資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少22億51百万円、棚卸資産の増加9億30百万円、投資その他の資産（その他）の増加22億20百万円などであり、負債の部は153億67百万円となり、前連結会計年度末に比べて3億31百万円減少いたしました。負債の部の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の増加5億49百万円、電子記録債務の増加3億82百万円、未払法人税等の減少6億30百万円などであり、

当第3四半期連結会計期間末の純資産は556億63百万円となり、前連結会計年度末に比べて10億58百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が14億94百万円増加いたしました、その他の包括利益累計額が2億17百万円減少したことなどによるものであります。これらの結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べて0.7ポイント上昇し、78.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当連結会計年度の業績予想につきましては、令和6年5月10日に決算短信で公表いたしました業績予想から変更はありません。

当社グループの業績に直接的又は間接的に影響する主な要因のうち、当社グループの事業と密接に関連する重要なものとしてステンレス鋼の市況があります。ステンレス鋼の市況は需給バランスだけでなく、ステンレスの主原料であるニッケル市況の影響を強く受けています。これらはいずれも的確に予測できるものではなく、また、予測どおりに推移する保証もありません。

業績予想に際しては、予想時点の状況を基として予想期間における当社グループに関連する情勢を加味しておりますが、業績予想は実際の業績を保証するものではありません。実際の業績は、その後の情勢の変化等に伴い予想と乖離することがあります。その場合は、業績見込みの見直しを行い、その結果、業績予想の修正が必要と判断したときには速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	18,362	16,111
受取手形及び売掛金	9,159	8,768
電子記録債権	6,586	6,542
棚卸資産	11,535	12,465
その他	213	218
貸倒引当金	△16	△16
流動資産合計	45,839	44,089
固定資産		
有形固定資産		
土地	8,009	8,068
その他(純額)	8,032	8,143
有形固定資産合計	16,041	16,211
無形固定資産		
その他	60	146
無形固定資産合計	60	146
投資その他の資産		
その他	8,371	10,591
貸倒引当金	△8	△8
投資その他の資産合計	8,363	10,583
固定資産合計	24,464	26,941
資産合計	70,304	71,030
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,564	3,113
電子記録債務	5,733	6,115
短期借入金	1,536	1,536
未払法人税等	964	334
賞与引当金	428	167
その他	2,105	1,725
流動負債合計	13,332	12,992
固定負債		
長期借入金	506	479
役員退職慰労引当金	184	—
執行役員退職慰労引当金	35	—
退職給付に係る負債	173	171
役員株式報酬引当金	—	29
その他	1,467	1,695
固定負債合計	2,366	2,375
負債合計	15,698	15,367

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (令和6年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,360	7,360
資本剰余金	7,149	7,149
利益剰余金	36,919	38,413
自己株式	△2	△226
株主資本合計	51,426	52,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,958	1,646
為替換算調整勘定	886	1,011
退職給付に係る調整累計額	276	246
その他の包括利益累計額合計	3,121	2,904
非支配株主持分	57	62
純資産合計	54,605	55,663
負債純資産合計	70,304	71,030

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
売上高	36,370	34,880
売上原価	27,673	26,177
売上総利益	8,697	8,703
販売費及び一般管理費	4,097	4,412
営業利益	4,600	4,290
営業外収益		
受取利息	12	13
受取配当金	142	106
持分法による投資利益	124	142
為替差益	51	29
その他	40	44
営業外収益合計	371	336
営業外費用		
支払利息	7	10
その他	4	13
営業外費用合計	11	24
経常利益	4,960	4,602
特別利益		
投資有価証券売却益	109	67
特別利益合計	109	67
特別損失		
固定資産除却損	2	2
特別損失合計	2	2
税金等調整前四半期純利益	5,067	4,667
法人税、住民税及び事業税	1,388	1,228
法人税等調整額	131	158
法人税等合計	1,519	1,386
四半期純利益	3,548	3,281
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,544	3,279

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
四半期純利益	3,548	3,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	341	△312
為替換算調整勘定	63	56
退職給付に係る調整額	△2	△30
持分法適用会社に対する持分相当額	30	70
その他の包括利益合計	433	△214
四半期包括利益	3,981	3,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,974	3,062
非支配株主に係る四半期包括利益	7	4

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	34,584	1,786	36,370	—	36,370
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	34,584	1,786	36,370	—	36,370
セグメント利益	4,473	127	4,600	0	4,600

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	日本	インドネシア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	33,255	1,625	34,880	—	34,880
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	33,255	1,625	34,880	—	34,880
セグメント利益	4,229	60	4,290	0	4,290

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年12月31日)
減価償却費	789百万円	797百万円

<参考資料>

令和7年1月31日

モリ工業株式会社

令和7年3月期 第3四半期 決算発表

1. 要約連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期末 R6.3.末	当四半期末 R6.12.末	増減		前期末 R6.3.末	当四半期末 R6.12.末	増減
流動資産	45,839	44,089	△1,750	流動負債	13,332	12,992	△340
現金及び預金	18,362	16,111	△2,251	支払手形及び買掛金	8,297	9,229	932
受取手形及び売掛金	15,746	15,311	△435	短期借入金	1,536	1,536	—
棚卸資産	11,535	12,465	930	未払法人税等	964	334	△630
その他	196	201	5	引当金	428	167	△261
				その他	2,105	1,725	△380
固定資産	24,464	26,941	2,477	固定負債	2,366	2,375	9
有形固定資産	16,041	16,211	170	長期借入金	506	479	△27
土地	8,009	8,068	59	役員退職慰労引当金	184	—	△184
その他	8,032	8,143	111	執行役員退職慰労引当金	35	—	△35
				役員株式報酬引当金	—	29	29
				繰延税金負債	1,167	1,178	11
				その他	472	687	215
無形固定資産	60	146	86	負債合計	15,698	15,367	△331
投資その他の資産	8,363	10,583	2,220	純資産	54,605	55,663	1,058
投資有価証券	4,890	7,066	2,176	株主資本	51,426	52,696	1,270
退職給付に係る資産	1,872	1,891	19	資本金・資本剰余金	14,509	14,509	—
その他	1,600	1,625	25	利益剰余金	36,919	38,413	1,494
				自己株式	△2	△226	△224
				その他の包括利益累計額	3,121	2,904	△217
				非支配株主持分	57	62	5
資産合計	70,304	71,030	726	負債・純資産合計	70,304	71,030	726

2. 棚卸資産回転月数(期末棚卸資産÷累計期間の月平均売上高)

(単位：月)

	前第3四半期	当第3四半期	増減
棚卸資産回転月数	2.92	3.22	0.30

3. 有形固定資産の増減内訳

(単位：百万円)

有形固定資産の増減	設備投資	減価償却	その他処分等	為替換算増減
170	891	775	△2	52
日本 (156)	(858)	(698)	(4)	(—)
インドネシア (14)	(33)	(77)	(△6)	(52)

4. 実質有利子負債の比較

(単位：百万円)

	前期末 R6.3.末	当四半期末 R6.12.末	増減
有利子負債①	2,050	2,022	△28
現預金等換金性のもの②	18,362	16,111	△2,251
実質有利子負債①-②	△16,311	△14,088	2,223

5. 要約連結損益計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期 R5.4-R5.12	百分比 %	当第3四半期 R6.4-R6.12	百分比 %	増減
売上高	36,370	100.0	34,880	100.0	△1,490
売上原価	27,673	76.1	26,177	75.0	△1,496
売上総利益	8,697	23.9	8,703	25.0	6
販売費及び一般管理費	4,097	11.3	4,412	12.7	315
営業利益	4,600	12.6	4,290	12.3	△310
営業外収益	371	1.0	336	1.0	△35
受取利息	12		13		
受取配当金	142		106		
持分法投資利益	124		142		
為替差益	51		29		
その他	40		44		
営業外費用	11	0.0	24	0.1	13
支払利息	7		10		
その他	4		13		
経常利益	4,960	13.6	4,602	13.2	△358
特別利益	109	0.3	67	0.2	△42
投資有価証券売却益	109		67		
特別損失	2	0.0	2	0.0	△0
固定資産除却損	2		2		
税引前四半期純利益	5,067	13.9	4,667	13.4	△400
法人税等	1,519	4.2	1,386	4.0	△133
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	0.0	1	0.0	△3
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,544	9.7	3,279	9.4	△265

6. 当第3四半期の経常利益増減要因(前第3四半期対比)

(単位：百万円)

増益要因	金額	減益要因	金額
1. 棚卸評価差損益	452	1. 生産金額(量・価格含む)の減少	△224
		2. 変動比率の増加	△121
		3. 固定費の増加	△269
		4. 為替差損益	△21
		5. その他	△175
計	452	計	△810
		差引	△358